

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	岡 千春 【比較社会文化学専攻 平成23年度生】	<p>これまでの舞踊研究では、舞踊の身体の「見え」や「動き」に着目した論が議論の対象となりやすく、ダンサー個人の内面の問題と身体とのかかわりが重視されることは少ない。そして、舞踊における身体は、ほとんどが鑑賞者の視点から論じられ、ダンサーが自己の身体に対してどのような感覚をもちうるかという視点で議論されることは少ない。従って、舞踊における身体は、多くは「見え」としての身体として、鑑賞者の視点から論じられてきたと言える。それに対し、本研究は、舞踊における身体を舞踊経験のあるダンサー自身の感覚を基に、ダンサーの物理的身体と内的な意識作用の関連という視点から捉えようとしている。</p> <p>本論文に対する審査は査読に基づいて二回行われ、第一回審査会では、踊ることによって生成される身体を舞踊経験のあるダンサー自身の感覚を基にその身体のあり方を理論化しようとする意欲的な研究として学術的、社会的な意義が認められること、文献の検討およびダンサーを対象としたインタビュー調査の考察により、舞踊における身体の様相と構築過程を具体的に検証しようとしたという点が高く評価された。しかし、「心身一如」を中心とする理論的展開が明確ではなく、特に第一章における引用文の多さを含めて、論理の展開を整理するように求められた。また、第三章のインタビュー調査のKJ法による分析の箇所に関して、表層的な考察に留まっているという指摘を受け、その箇所の修正が求められた。第二回審査会では、以上の指摘に対し適切且つ妥当な加筆修正が施されていることを確認し、論文の完成度が高まったと評価された。</p> <p>公開発表後、それに引き続いて行われた最終試験における質疑応答においても、真摯な姿勢で満足すべき応答が得られ、研究に対する理解力と学力が十分であるものと判定された。</p> <p>以上の結果、本論文は博士論文としての到達点に達していると評価され、本審査委員会は全員一致で、学位申請者岡千春が最終試験に合格し、人間文化創成科学研究科の学位、博士（学術）Ph. D. in Dance Studies として認定するに値すると判定した。</p>
論文題目	踊ることによって生成される身体 －その様相と構築過程－	
審査委員	(主査) 教授 猪崎 弥生	
	教授 米田 俊彦	
	教授 新名 謙二	
	教授 永原 恵三	
	早稲田大学人間科学学術院 教授 浅田 匡	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 否 ）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	

